

芸術創造の力は 未来をつくる

—令和6年度文化予算の大幅増額を

芸術文化への投資は豊かな社会をつくります

- 1 国民に共有されている実演芸術の魅力と価値
- 2 芸術団体の創造力、継続的な力で人々に享受機会をつくる
「舞台芸術等総合支援事業」予算の大幅増加を
- 3 世界に比して少ない日本の文化予算
—助成専門機関の機能強化を
- 4 芸術文化への投資で
芸術の力を子どもたちに、全国の人々に伝え、豊かな社会を

芸術創造の力は未来をつくる

—令和6年度文化予算の大幅増額を

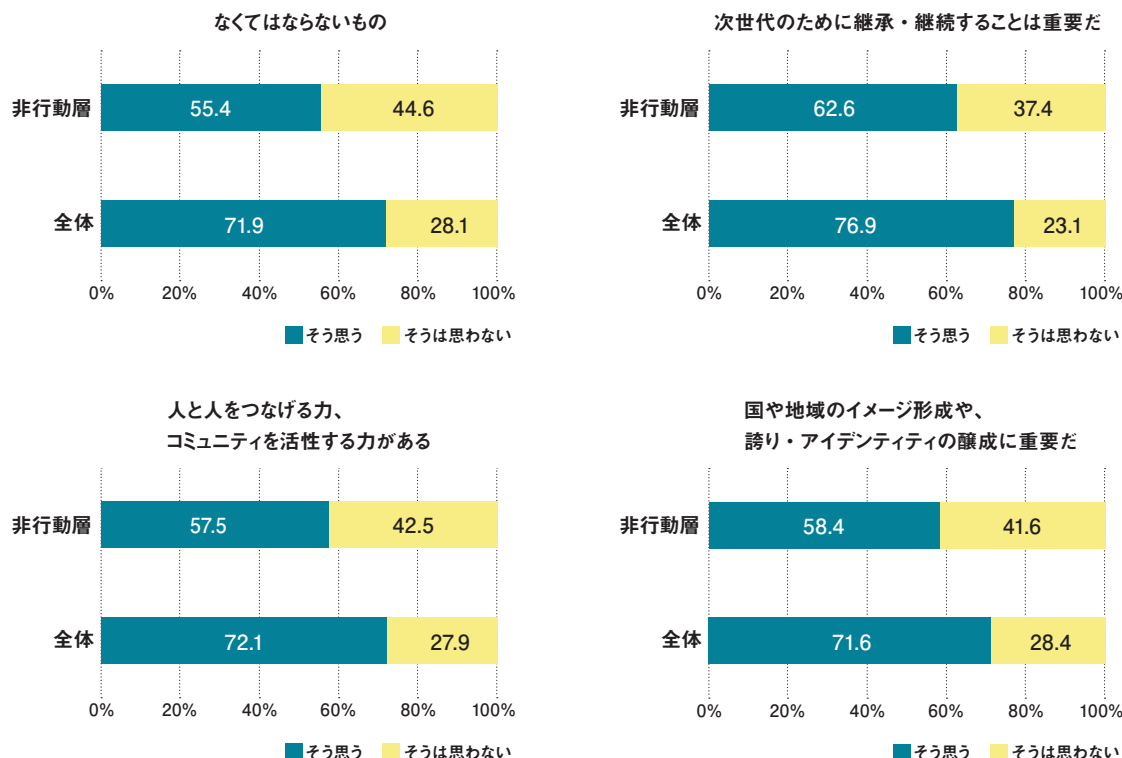
芸術文化への投資は豊かな社会をつくります

1 国民に共有されている実演芸術の魅力と価値

実演芸術を生・ライブで楽しむことを通して、人々は今生きていることを実感しあいます。そうした経験は、時代、社会、世界を捉える理解力と共感力を育み、人生と社会を豊かにします。

演劇、音楽、舞踊、演芸、伝統芸能などの実演芸術は、人々のつながりをつくり、地域社会のアイデンティティと誇りを醸成し、未来をつくるために、なくてはならないもの。国、社会にとって価値があることが、普段あまり鑑賞しない人々も含めて、国民には広く認識されています。

国民の「ライブ・エンタテインメント・舞台芸術・伝統芸能」に対する意識



* インターネット調査（アートキャラバン事業で芸団協企画：2021年3月29～31日 株式会社マクロミル実施）
調査方法：2019年1月1日～同年12月31日まで1年間の「ライブ・エンタテインメント・舞台芸術・伝統芸能」享受行動の事前スクリーニング（行動層26.5% / 非行動層73.5%）を行い、行動層（1,548名）と非行動層（1,548名）を別々にモニター調査し、その結果それぞれと全体（3,096名）のウエイトバック集計の結果

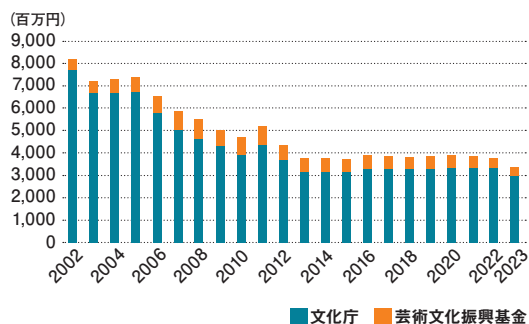
2

芸術団体の創造力、継続的な力で人々に享受機会をつくる 「舞台芸術等総合支援事業」予算の大幅増加を

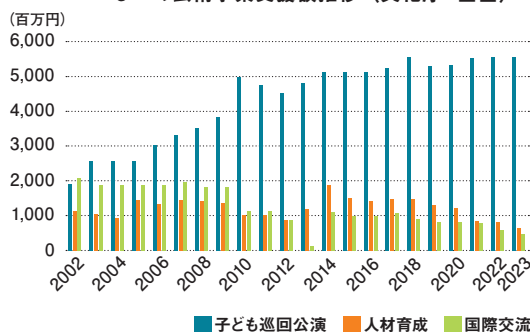
実演芸術は、脚本家、作曲家、演出家、俳優、音楽家などの多様なクリエイター、スタッフによって成り立ちます。新たな作品を創造し続けるためには、組織の持続的、継続的な営みが必要不可欠です。

文化庁の「舞台芸術等総合支援事業」は、芸術創造と、人々の喜びや活力を生み出すための重要な役割を担います。その中心は、芸術団体の創造活動への支援です。そして団体を支える人材の育成、子どもたちが本物の芸術にふれる機会の提供(学校巡回公演)、全国各地の鑑賞機会の創出(全国キャラバン)、海外展開・交流への支援があり、これらが相まって芸術創造と享受の基盤をつくり出します。多様で豊かな芸術を創造・提供する芸術団体を持続的に存在させるためには、少なくとも概算要求113億円の実現が求められます。

芸術団体の直接補助額推移 (文化庁・基金)



3つの芸術事業支援額推移 (文化庁・基金)



* 文化庁資料を基に文化芸術推進フォーラムが作成

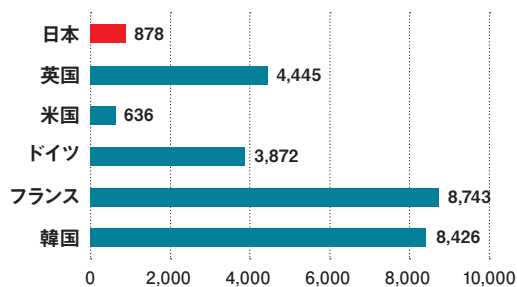
3

世界に比して少ない日本の文化予算 —助成専門機関の機能強化を

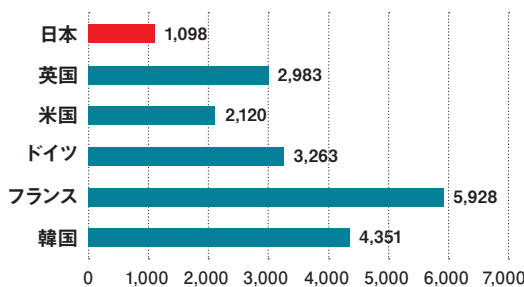
国により制度が異なりますが、フランス、ドイツは政府が大きな役割を担い、国公立劇場が創造の中心となり、人々の享受の場をつくり出しています。アメリカは公共的な文化機関はなく、民間の非営利芸術団体を連邦、州政府が助成し、社会と人々が寄付金(優遇税制あり)で支えています。イギリスはアーツカウンシルという政府から独立した助成専門機関を置いて芸術活動を支援しています。

日本では、文化庁の実演芸術に向けられる予算は極めて少ないものです。芸術活動への一層効果的な支援のためには、文化予算の増額だけでなく、国の助成専門機関の拡充が必要です。

国民一人当たりの予算額 (円)



文化予算額 (億円)



* 文化庁・早稲田大学「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う諸外国の文化政策の構造変化に関する研究報告書」(2022年度)より

4 芸術文化への投資で 芸術の力を子どもたちに、全国の人々に伝え、豊かな社会を

芸術は、日常生活とは異なる新しい考え方や価値観を人々にもたらし、コミュニケーションと視野を広げ、より豊かな人生をもたらす力、社会をより良いものにする力をもっています。子どもの頃から芸術にふれる機会を、すべての地域の人々につくり出すことが、これからの社会、世界に誇る日本をつくるためには重要です。

しかし、コロナ禍の収束にともない補正予算がなくなることで、文化庁の実演芸術予算は事実上の減少が予想されます。パンデミックによりあらためて見直された実演芸術の価値を一層高め、時代を生き抜く活力あふれる社会づくりを促進するために、今こそ芸術文化への投資が必要です。

芸術創造の力は未来をつくる — 令和6年度文化予算の大幅増額を

2023年9月20日発行

芸術家会議
〒105-0004
東京都港区新橋3-1-10
石井ビル6階
公益社団法人日本演奏連盟内
TEL 03-3539-5131
FAX 03-3539-5132

文化芸術推進フォーラム
〒163-1466
東京都新宿区西新宿3-20-2
東京オペラシティタワー11階
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕内
TEL 03-5353-6600
FAX 03-5353-6614

Arts and Culture Forum
文化芸術
推進フォーラム

